

Ⅱ 委員会活動から Ⅱ

有資格者増強委員会(北海道技術士センター)

【第二次試験対策(20部門)経験問題の添削指導(3カ月実施)】

【総合技術監理部門 情報交換会(6月11日開催)】

【第一次試験対策講習会(6月26日開催)】

当委員会の主行事である技術士試験対策講習会として、第二次試験・総合技術監理部門の情報交換会を6月11日(金)～きょうさいサロン、第一次試験は6月26日(土)～北海道建設会館で実施いたしました。

また、技術士第二次試験の総合技術監理部門を除く20部門に関する経験問題の添削指導を4月1日～7月中旬迄、約3カ月半実施いたしました。以下にはこれらの概要について報告いたします。

1. 技術士第二次試験対策の概要報告

(1) 1～20部門の経験問題添削指導

例年実施している講習会は、技術士制度改正の影響を受け昨年度参加者が激減したため、今年度は開催を見送り、講習会と併せて実施している経験問題の添削指導についてのみといたしました。添削指導受付は、広報委員会の協力を得て今年度からホームページによって随時可能とし、実施期間は4月1日～7月中旬迄、約3カ月半実施いたしました。これにより、時間的に通常1回のみでの添削しか出来なかったものが数回可能となるように迅速化を図るとともに、丁寧な添削を行うようにいたしました。

申込者数等は以下のとおりですが、昨年度よりは多少増加したもののやはり例年までには至りませんでした。次年度以降は第一次試験合格者が徐々に増加していくことから、受講者も増えていくものと予想されます。今後さらに動向を見て講習会の復活や添削指導のあり方等を検討していかなければならないと考えております。

■添削受付者(延べ)：30名

■添削受付者(2回申し込み)：2名

■添削協力技術士：19名

(2) 総合技術監理部門の情報交換会

平成13年度の総合技術監理部門新設から3年経過し、試験の傾向が少しずつ見えてきました。そのため、今年度始めて委員会の行事として実施いたしました。総合技術監理部門の受験者は既に「技術士」を取得している方であることから、基本的な受験テクニックは会得しております。そのため、講師を立てて指導を行うというより、既取得者の経験談を紹介する情報交換会といった形式で実施いたしました。具体的には1時間半程、最新合格者の経験談による『過去問題と傾向の紹介』と、技術士受験対策等で数多くの書籍を執筆されている開発工営社中田氏から『合格のポイント』と題して、受験対策としての貴重な情報提供をして頂きました。その後受講者と委員会メンバーを交えた会食を、口答試験等の情報交換会と技術士の集まりとしての懇親会を兼ねて実施いたしました。詳細は以下のとおりです。

■日時：平成16年6月11日(金)

18：30～21：00

■場所：きょうさいサロン

■プログラム：

① 『体験談と過去問題』：大井条司

(明治コンサルタント：委員会メンバー)

② 『合格のポイント』：中田光治

(開発工営社：協力技術士)

■参加者

受講者：24名、委員会メンバー(10名)

(文責：黒沢 弘行)



【情報交換会全景】



【合格のポイントアドバイス：中田氏】



【近藤委員長挨拶】



【懇親会風景】

2. 技術士第一次試験講習会の概要報告

技術士第一次試験受験講習会を以下のとおり開催しました。今年度で3回目の開催となります。概要は次のとおりです。

■開催日時：平成16年6月26日(土)

■開催時間：10:00~16:00

■開催場所：北海道建設会館

■講習内容

- ・技術士制度の概要、最近の動向について
(齊藤礼位委員長)
- ・試験の取り組み方について
(中田光治氏：協力技術士)
- ・試験の傾向と対策Ⅰ（共通・基礎・適性科目）
(向井直樹)
- ・試験の傾向と対策Ⅱ（専門科目）
(齊藤礼位他 当日講師14名)

専門科目の開講部門は、建設部門、上下水道部門、農業部門、応用理学部門、環境部門の5部門です

■受講者数

建設部門：161名、上下水道部門：6名、農業部門：28名、応用理学部門：5名、環境部門：23名の計223名が受講されました。



【建設部門の全体講習】



【環境部門の講習】



【上下水道部門の講習】



【農業部門の講習】



【応用理学部門の講習】

今年度から広報の強化、受付の効率化を図るため、従来のFAXによる申し込み方法からインターネットによる受講申し込みを開始しました。一部インターネットの利用に不都合がある方については、従来のFAXによる申し込みも併用しております。

今年度は、講習時間を昨年より延長し、1日かけての講習会としました。長時間にわたる講習会でしたが、参加者の方々は、最後まで熱心に受講されて

おり、主催者としても大変喜ばしく思っております。

本講習会を受講されたすべての方の合格を切に願っております。

また、講習会のテキスト作成に当たり、北海道技術士センター会員の方にもご協力いただきました。この場をかりて感謝申し上げます。

(文責：中山 亮)